



大樹

令和6年1月31日
流山市立八木南小学校



改めて「えがお」と「つながり」を実感

もうすぐ立春。春を感じる一瞬もあれば、まだまだ朝晩の寒さが厳しい毎日です。子供たちは元気いっぱい挨拶をしながら登校しています。休み時間には、寒さに負けず、縄跳びで新しい技にチャレンジしたり鬼ごっこで走り回ったり…そんな姿に私たち教職員は元気をもらっています。先月は、能登半島地震で被害のあった能登町への募金活動に、たくさんの方々に温かいご理解とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。市内でまとめて、能登町の教育活動の支援金としてお贈りします。



1月25日には、4年生がキッコーマンもの知りしょうゆ館に行き、工場見学と共に興味津々に「しょうゆづくり体験コース」も味わいました。3年生は、流山市博物館で、流山市の様々な歴史について学ぶことができました。落ち着いて見学や体験をすることができ、その姿には成長を感じました。それぞれの施設の方やバスの運転手の方にしっかりと挨拶やお礼をする姿も立派でした。当たり前のことをしっかりと行うことができる、とても大切なことです。

翌26日には、「昔遊びの会」を実施し、1年生が、地域の20名ほどの方々に「あやとり」「こま」「けん玉」「竹とんぼ」「おはじき」「めんこ」「お手玉」「だるま落とし」等の昔遊びを教えていただきました。PTAの方にもご協力いただき、技やこつを教わりました。何度も何度も繰り返し挑戦したり、できるようになった歓声が聞こえたり、「見て見て！」と友達と見せ合ったりしながら、大変有意義な時間を過ごしました。笑顔、つながり、本校の宝物です。



つい先日、新年が明けたと感じていましたが、古来から「1月は行ってしまう月」「2月は逃げてしまう月」「3月は去ってしまう月」と言われています。2月には、今年度最後の学習参観を予定しております。1年間の成長を見つけていただければと思います。また、過日の学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。次年度への工夫改善へと生かしていきたいと思っております。私たち教職員も昨今の様々な教育課題に直面するたび、子供たちが安全に安心して生活できるよう努めてまいりました。影となり日向となりそっと支えてくださっている保護者の皆様、地域の皆様に感謝しております。

変わらぬご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

流山市立八木南小学校 校長 山本 亜由美

